

株式会社ニッカトー
2026年3月期(第2Q)
決算説明資料

1. 中長期的な戦略について
2. 2026年3月期(第2Q)業績概要
3. 2026年3月期業績予想
4. 事業トピックス

1. 中長期的な戦略について
2. 2026年3月期(第2Q)業績概要
3. 2026年3月期業績予想
4. 事業トピックス

企業
理念

セラミックスと計測システムを通じて社会に貢献しよう

ニッカトーは創造性に富んだ信頼される商品の提供を通じて科学技術と産業の発展に寄与し、
企業の成長と発展を期し、親しまれる経営で社会に貢献する

経営ビジョン
目指す姿

“Reliable Company”
時代に必要とされる企業

CONNECT30
スローガン

“まずやってみる、未来のために。”

時代が変化していく中で、必要とされる企業だけが成長するように
従業員ひとりひとりが成長し、誇りを持って働ける会社にしよう

「CONNECT30」 3つの重点戦略

製品戦略
の見直し

+

戦略投資
の拡大

+

サステイナブル
経営の加速



稼ぎ続ける力



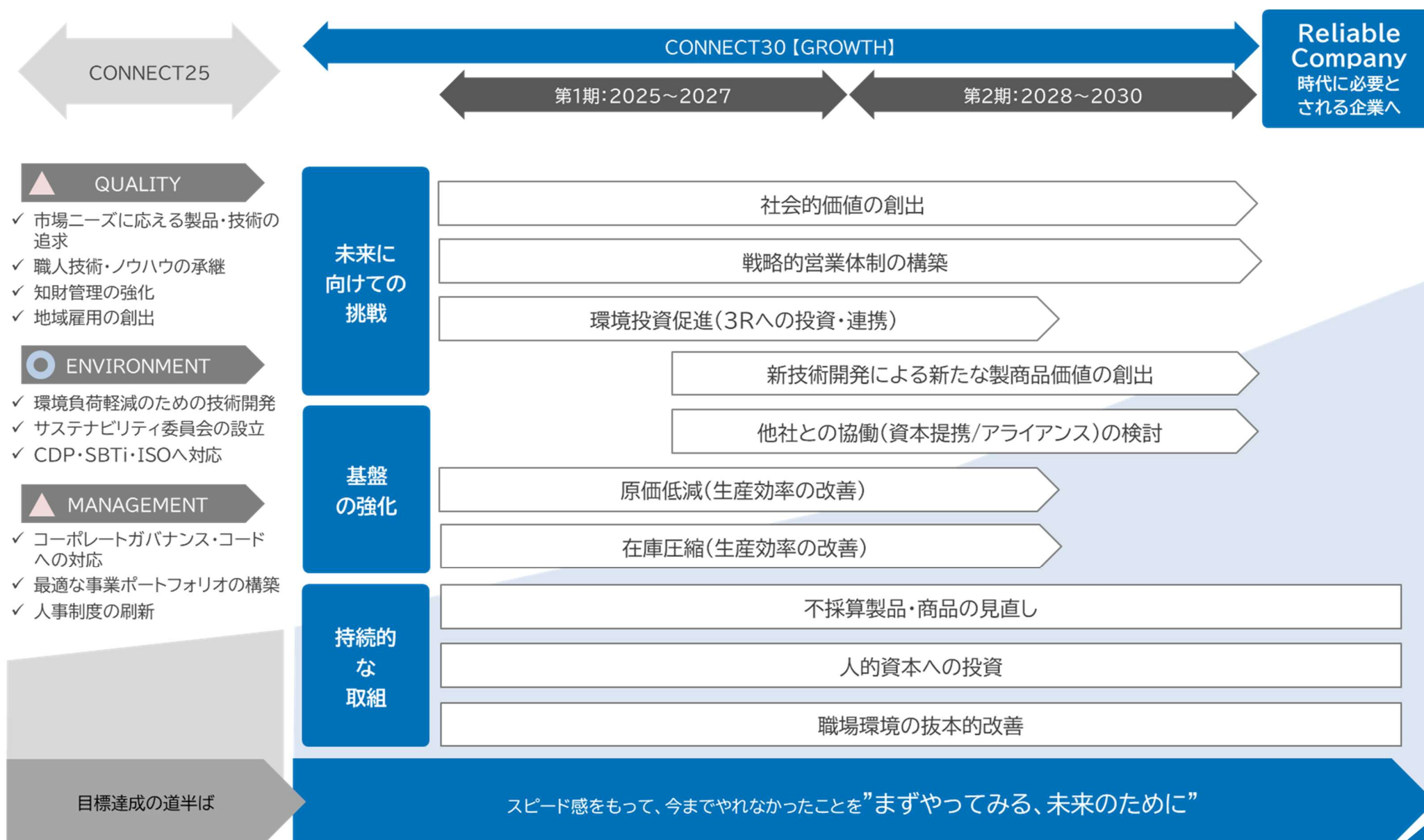
新たな投資



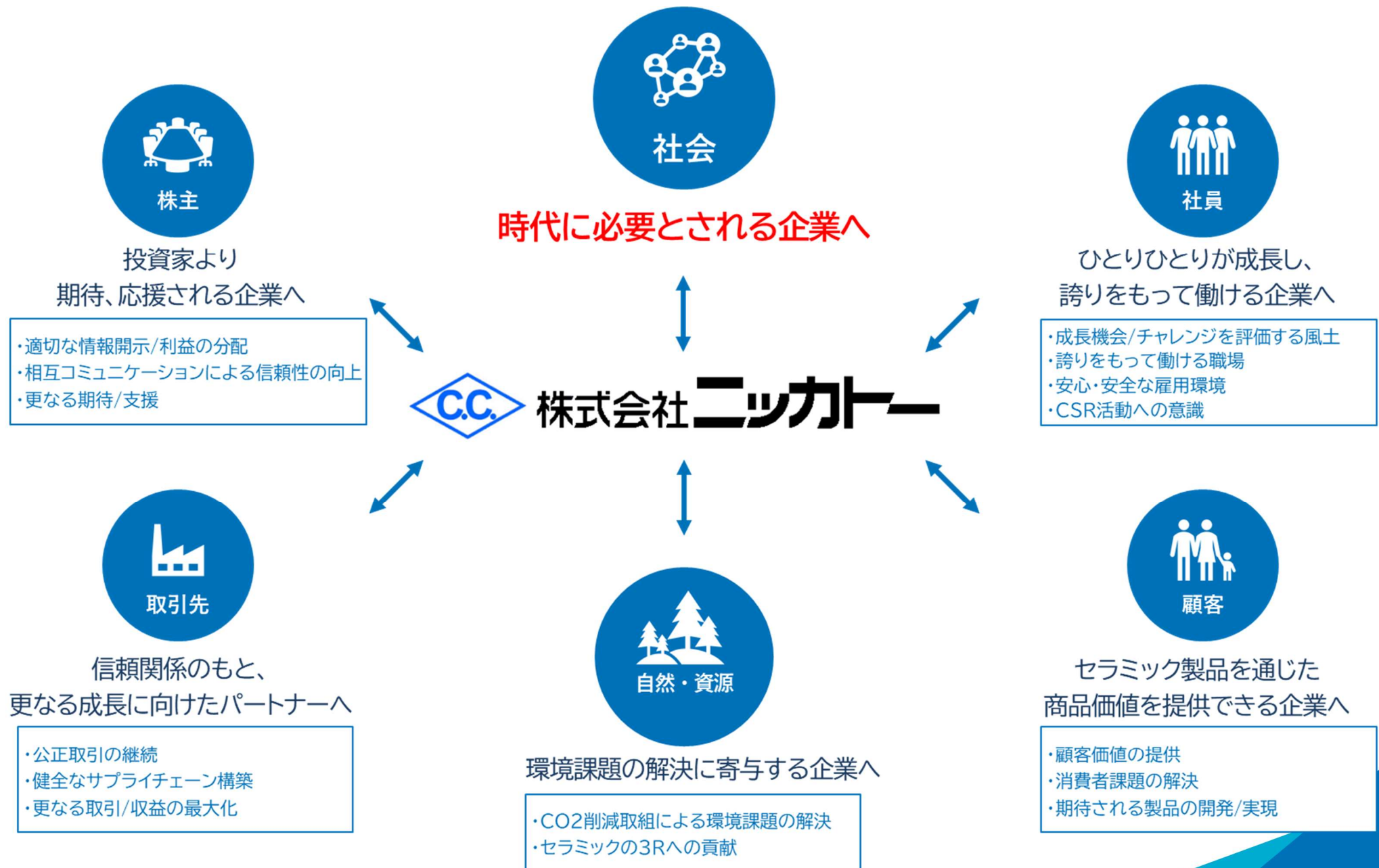
持続的な成長

培い積み上げてきたニッカトーの強みを発揮し、
未来のためにチャレンジし続けることで、持続的な成長につなげる

2030年へのプロセス



時代に必要とされる企業を目指して



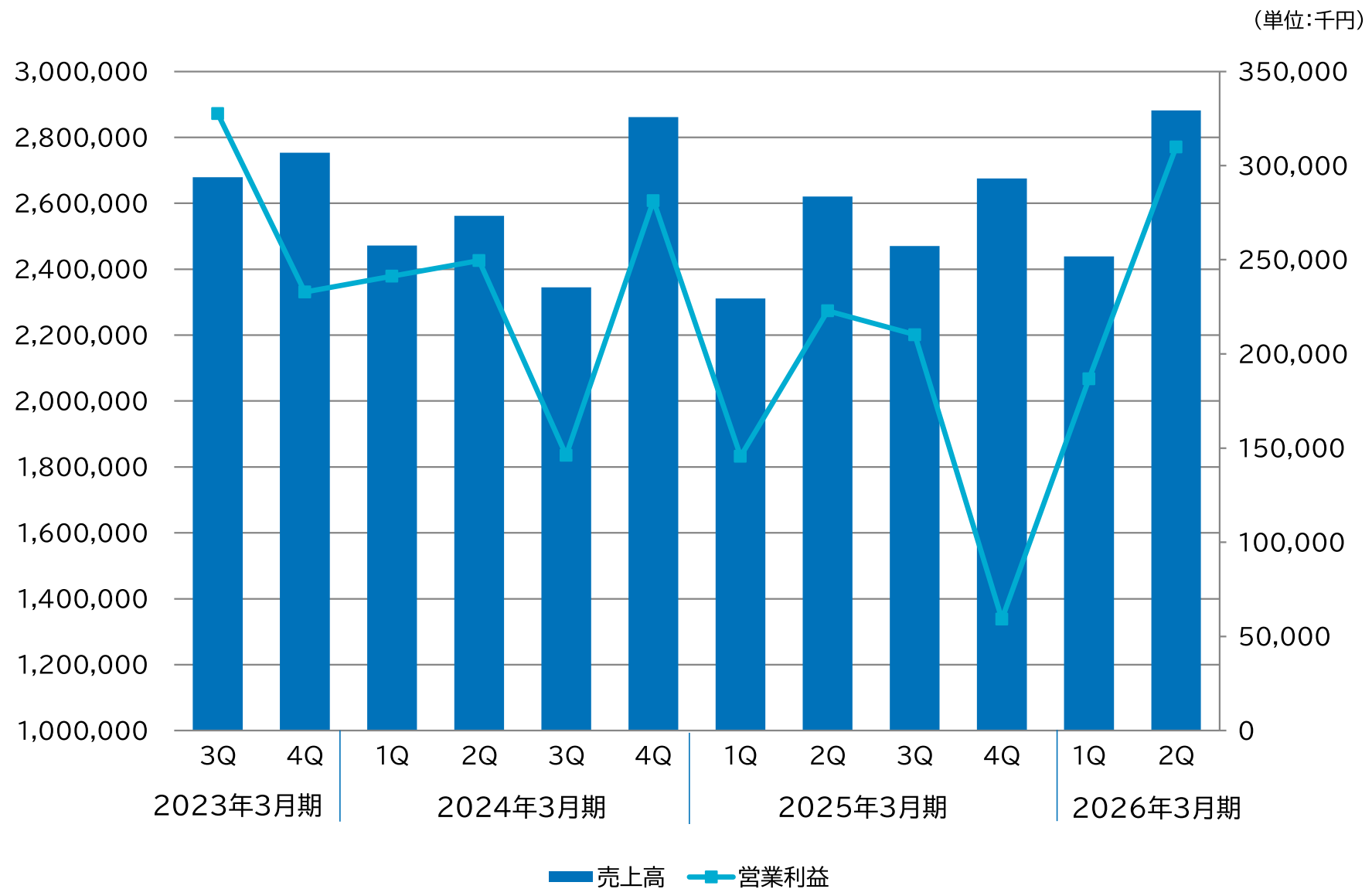
1. 中長期的な戦略について
2. 2026年3月期(第2Q)業績概要
3. 2026年3月期業績予想
4. 事業トピックス

経営成績の概要

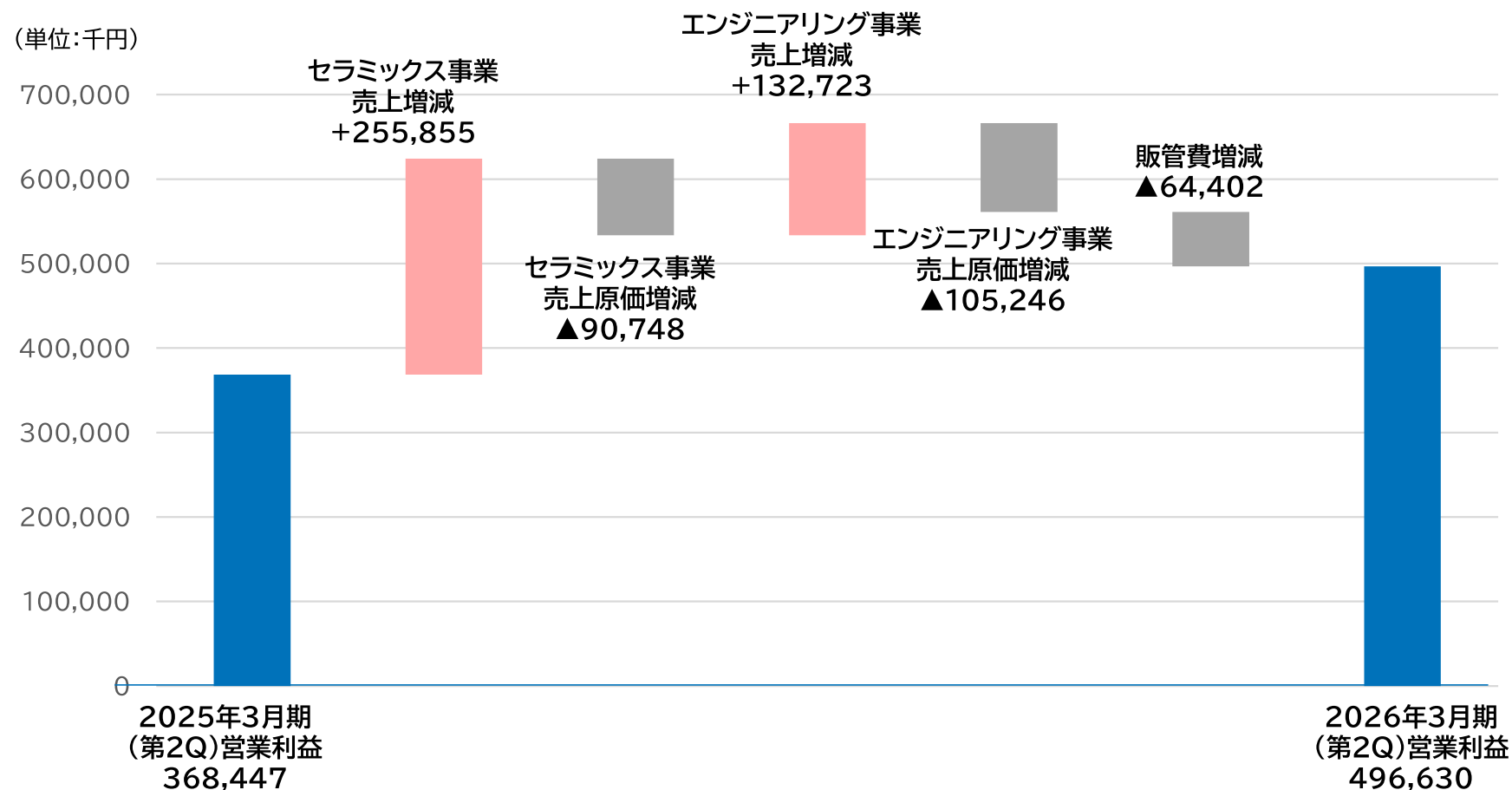
(単位:千円)	2025年3月期2Q		2026年3月期2Q		対前年		対通期予算	
	実額	売上比	実額	売上比	増減額	増減率	予算	達成率
売上高	4,931,543		5,320,122		388,578	7.9%	10,140,000	52.5%
売上原価	3,887,357	78.8%	4,083,351	76.8%	195,994	5.0%	7,734,000	52.8%
販売費及び一般管理費	675,738	13.7%	740,140	13.9%	64,402	9.5%	1,440,000	51.4%
営業利益	368,447	7.5%	496,630	9.3%	128,182	34.8%	966,000	51.4%
経常利益	407,259	8.3%	524,618	9.9%	117,359	28.8%	1,009,000	52.0%
当期純利益	284,663	5.8%	343,507	6.5%	58,844	20.7%	706,000	48.7%
研究開発費	117,935	2.4%	152,426	2.9%	34,490	29.2%	-	-
EPS(円)	23.84	-	28.74	-	4.90	-	-	-
ROA(%)	3.3	-	3.9	-	0.6	-	-	-
ROE(%)	4.4	-	5.1	-	0.7	-	-	-

※ROA・ROEの数値は第2四半期の実績数値を通期換算しております。

売上高・営業利益推移(四半期毎)



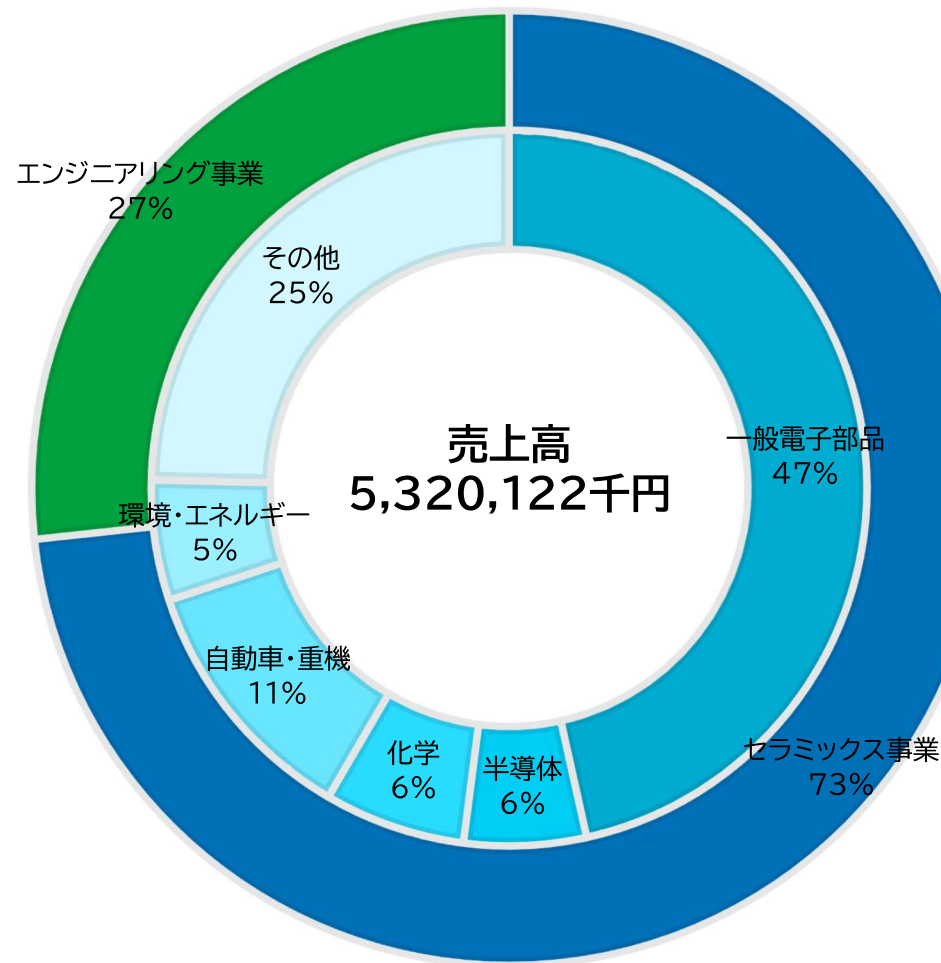
営業利益増減要因



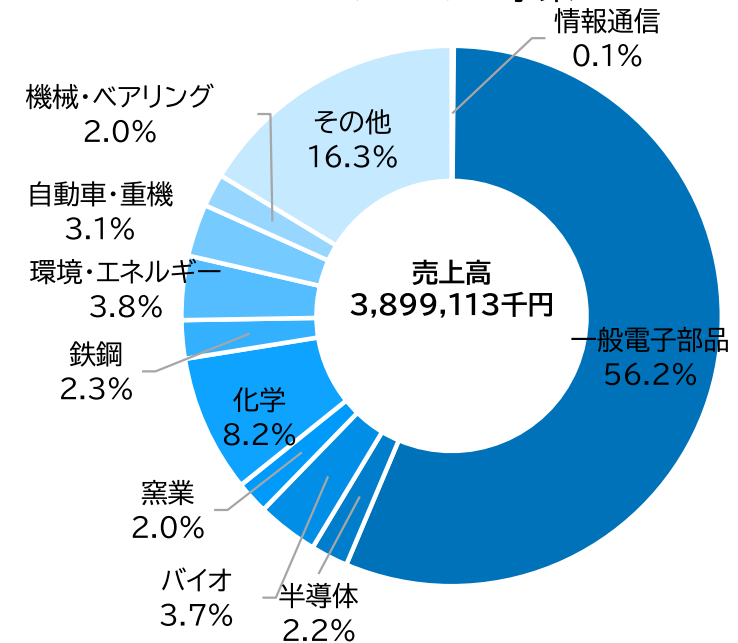
- ✓ セラミックス事業における主力の電子部品業界の稼働状況は改善傾向にあり、当社の工場稼働率も改善傾向にあるもの。エンジニアリング事業は半導体・電子部品向けを中心に計測機器類が堅調に推移。全社的には34.8 %増益の496,630千円となる。

マーケット別構成比

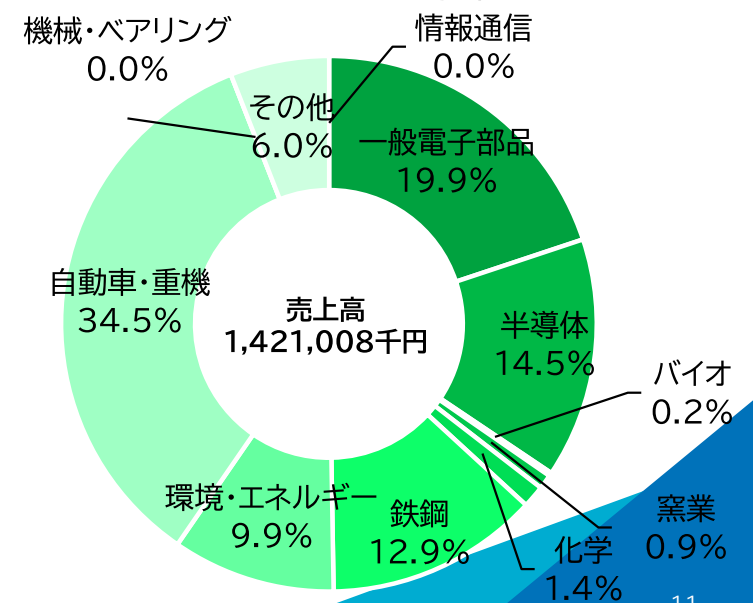
全 社



セラミックス事業



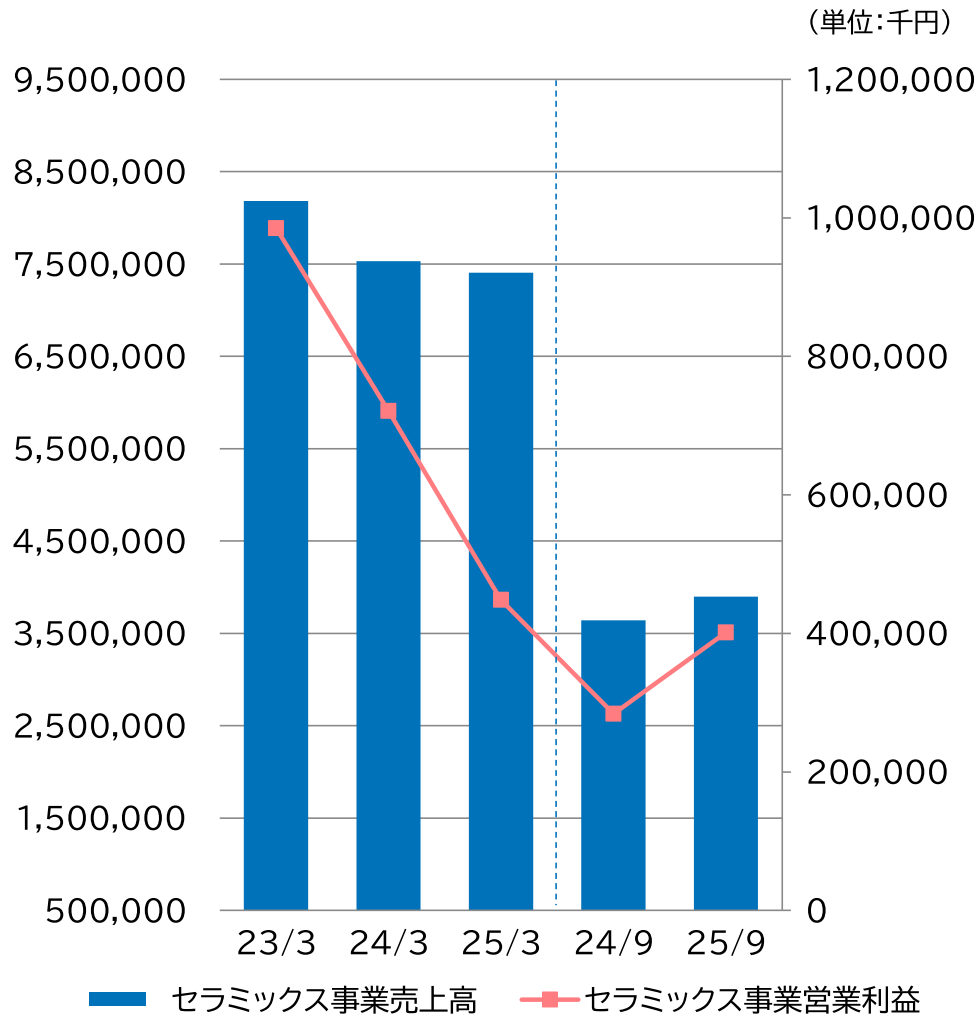
エンジニアリング事業



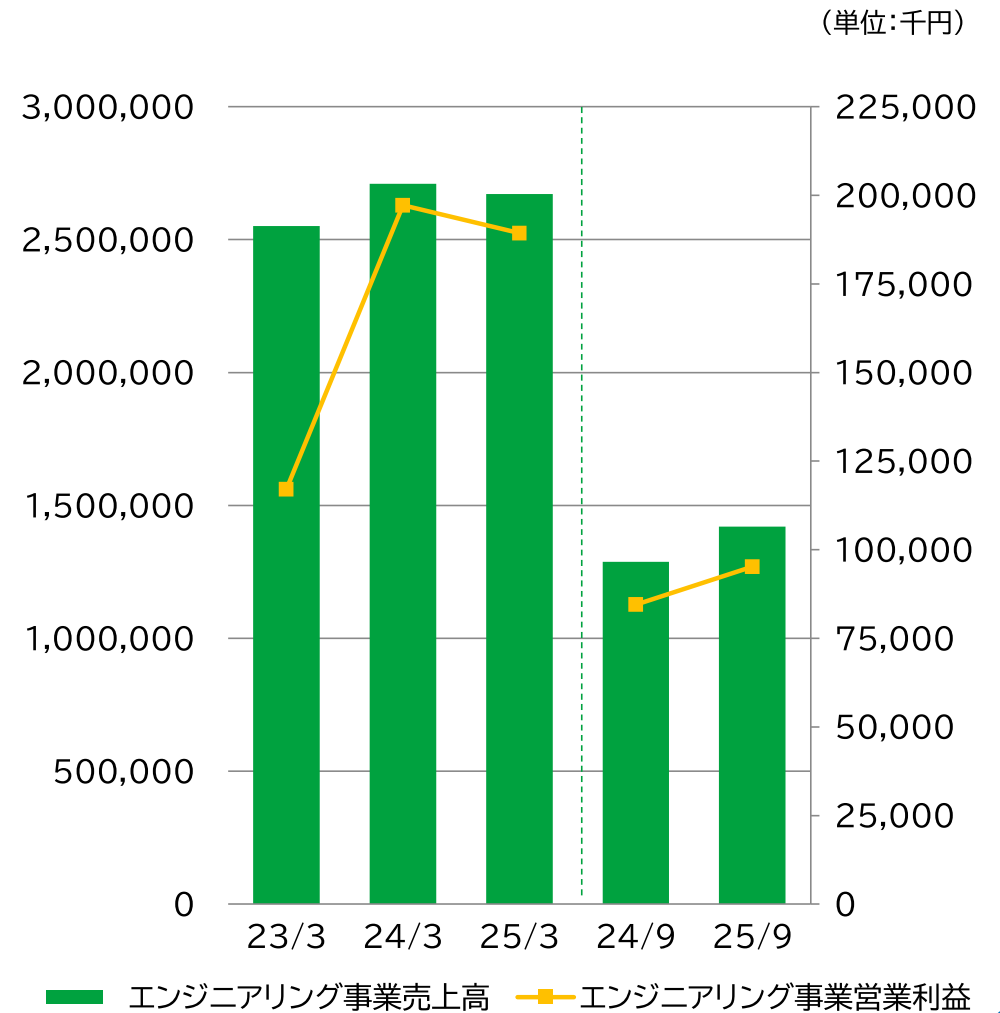
※マーケット別構成比は、2026年3月期(第2Q)のデータを使用しています。

セグメント別業績推移

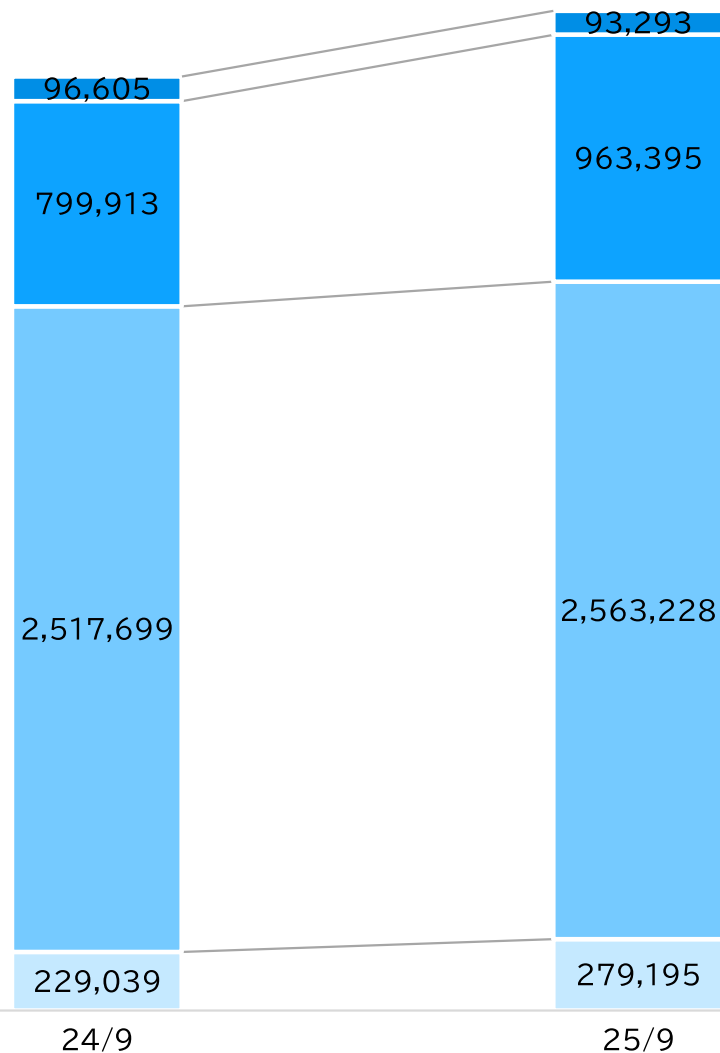
【セラミックス事業】



【エンジニアリング事業】

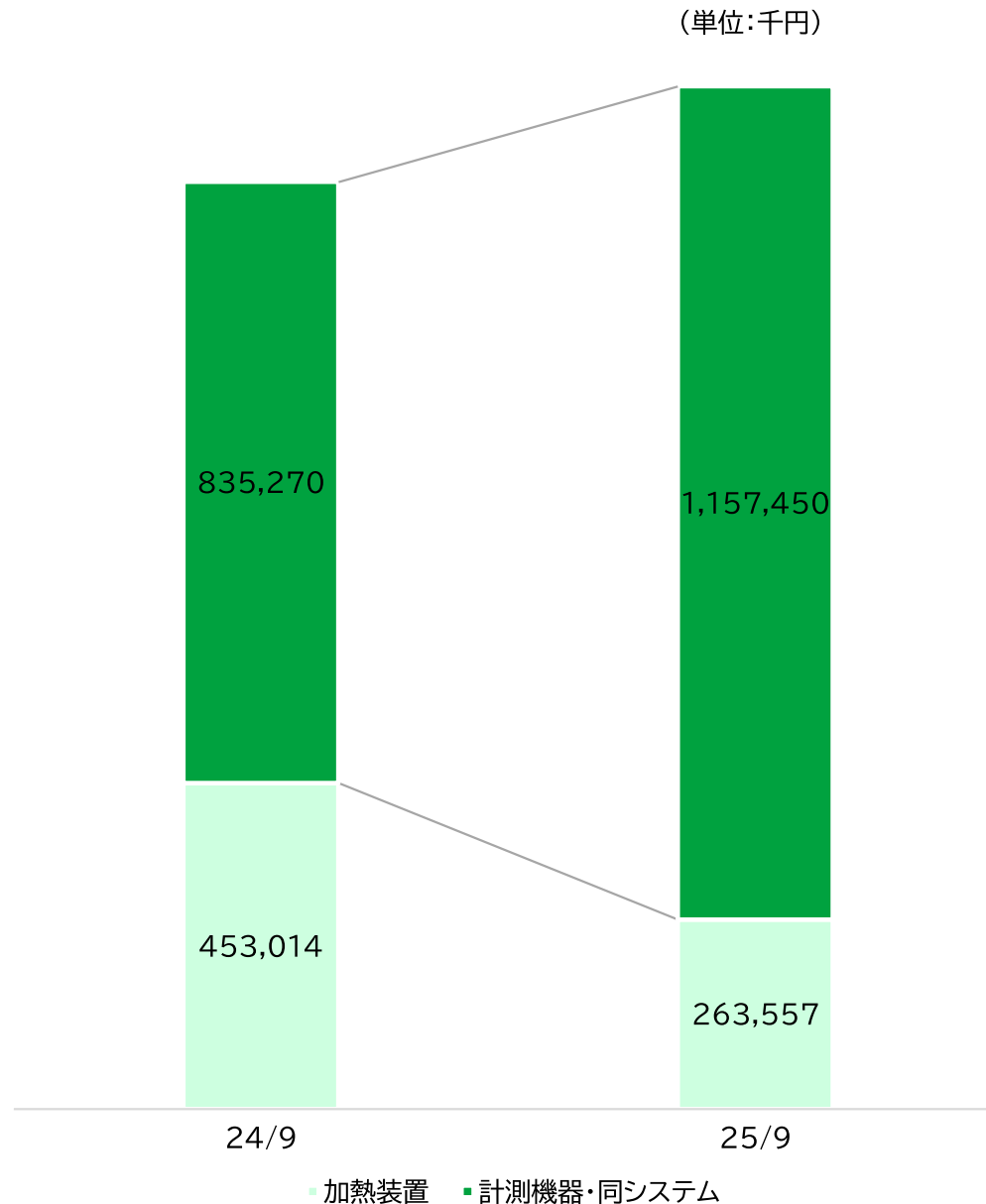


(単位:千円)



機能性セラミックス ■ 耐摩耗セラミックス ■ 耐熱セラミックス ■ 理化学用陶磁器他

- 雇用・所得環境の改善や訪日外国人の増加等により、国内景気は緩やかな回復基調が続くことが期待される。
- ウクライナ・中東情勢などの地政学リスクに伴う資源価格・原材料価格の上昇、並びに米国の通商政策、金融資本市場の影響は注視する必要あり。
- 主力の電子部品業界の受注は回復傾向にあり、工場稼働率も改善傾向。
- 不採算製品の見直しに着手。



- 自動車・重機関連等を中心に設備投資が堅調に推移した結果、売上高が伸長。
- 粗利益率は高水準を維持。計測機器・加熱装置の売上伸長により粗利金額も高水準を目指す。

貸借対照表

(単位:千円)	25/3末	25/9末	増減率
流動資産	10,091,569	10,300,946	2.1%
現金預金	3,642,551	3,438,874	△ 5.6%
売掛債権	3,455,096	3,762,716	8.9%
棚卸資産	2,970,242	3,076,821	3.6%
その他	23,678	22,535	△ 4.8%
固定資産	7,033,285	7,440,297	5.8%
有形固定資産	4,854,889	4,689,463	△ 3.4%
無形固定資産	83,055	69,020	△ 16.9%
投資その他	2,095,340	2,681,814	28.0%
資産合計	17,124,855	17,741,244	3.6%

- ・流動資産
 - 売掛債権 増収により増加
 - 棚卸資産 受注増加に伴う在庫増により増加
- ・固定資産
 - 有形固定資産 減価償却により減少
 - 無形固定資産 減価償却により減少
 - 投資その他 投資有価証券の評価増により増加

	25/3末	25/9末	増減率
流動負債	3,496,139	3,553,771	1.6%
買掛債務	1,949,691	2,056,096	5.5%
短期借入金	614,392	613,648	△ 0.1%
その他	932,055	884,027	△ 5.2%
固定負債	515,355	539,904	4.8%
長期借入金	106,452	0	△ 100.0%
その他	408,903	539,904	32.0%
純資産	13,113,360	13,647,568	4.1%
株主資本	12,477,613	12,693,309	1.7%
評価・差額等	635,746	954,258	50.1%
負債・純資産合計	17,124,855	17,741,244	3.6%

- ・流動負債
 - 買掛債務 受注増加に伴う仕入増による増加
- ・固定負債
 - 長期借入金 長期借入金の返済により減少
- ・純資産
 - 評価・差額等 投資有価証券評価増により増加

キャッシュフロー計算書

(単位:千円)	24/9末	25/9末	増減金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,092,531	519,784	△ 572,747
税引前当期純利益	406,516	492,814	86,298
減価償却費	311,847	324,239	12,392
棚卸資産の増減額	△ 162,747	△ 106,578	56,169
その他	536,915	△ 190,690	△ 727,605
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 518,218	△ 483,063	35,155
有形固定資産の取得	△ 516,410	△ 325,017	191,394
その他	△ 1,807	△ 158,046	△ 156,239
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 264,391	△ 240,398	23,992
配当金の支払額	△ 156,765	△ 132,813	23,953
その他	△ 107,625	△ 107,585	40
現金等の増減額	309,921	△ 203,677	△ 513,599
現金等の期末残高	3,694,526	3,438,874	△ 255,652

・営業CF
その他
増収に伴う売上債権の増加に伴う減少
法人税等支払額の増加に伴う減少

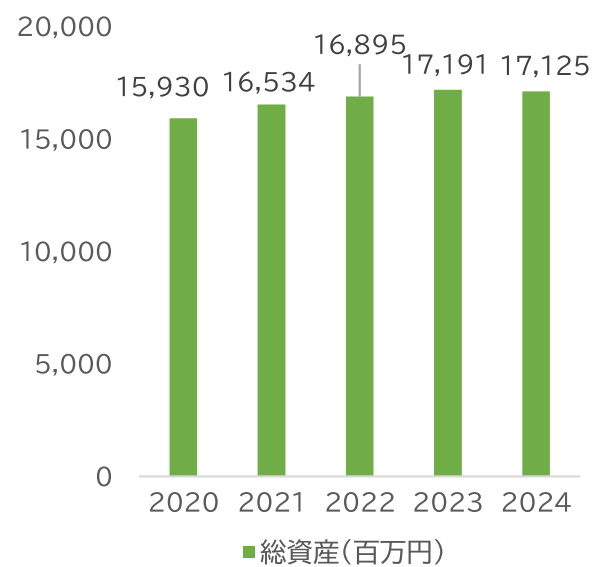
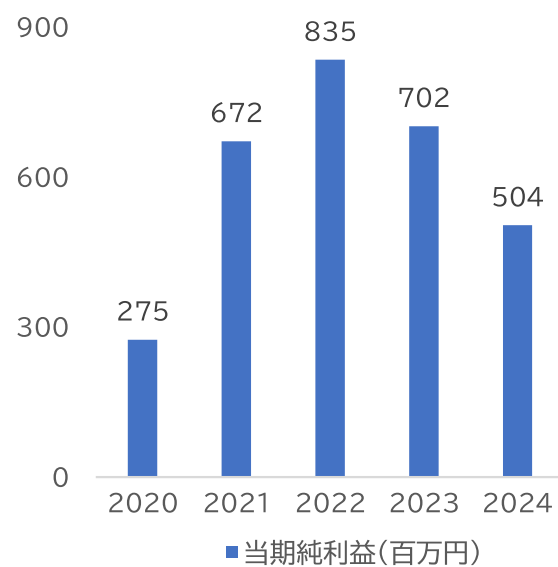
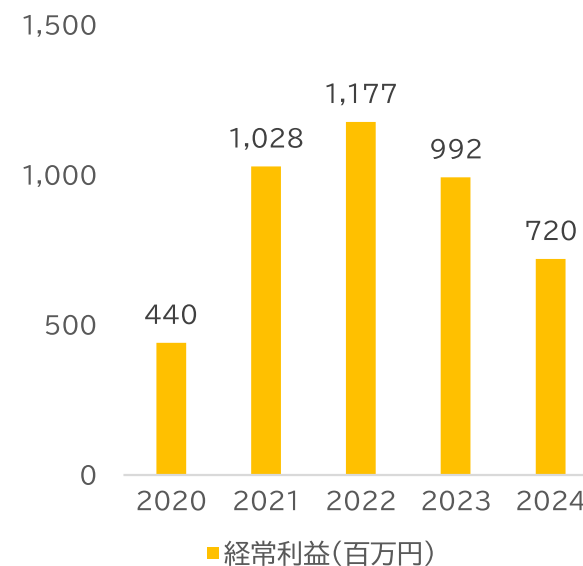
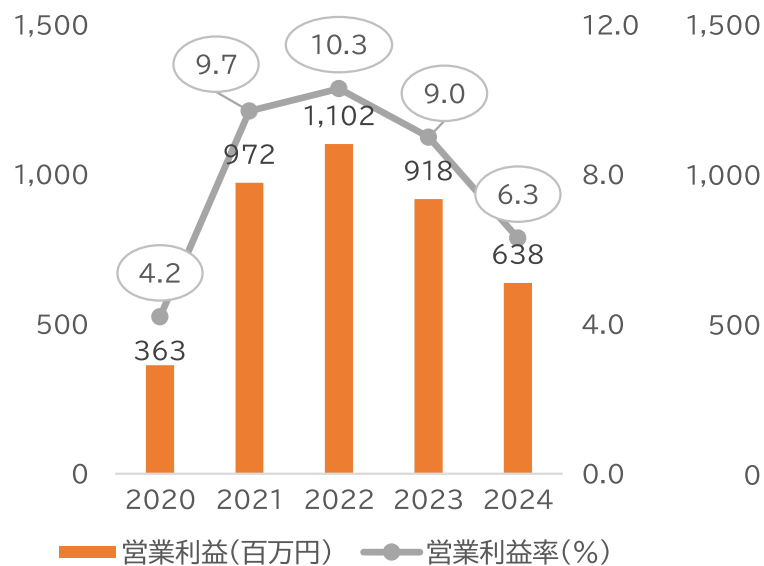
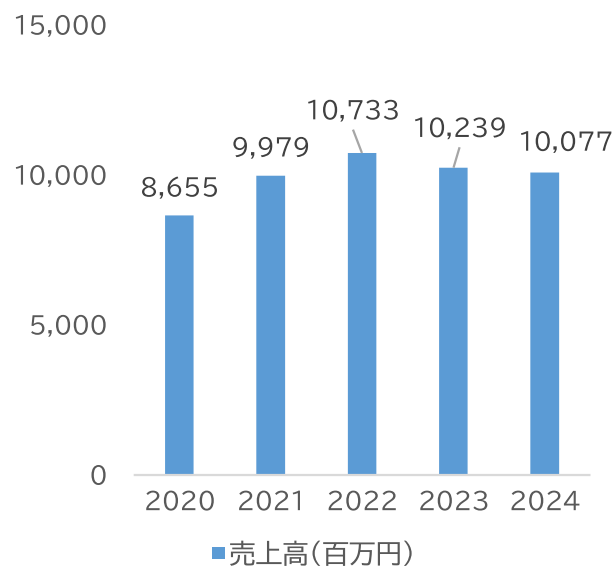
・投資CF
有形固定資産の取得
主にセラミックス事業生産設備
の新設および更新

・財務CF
配当金の支払額
配当金円11円

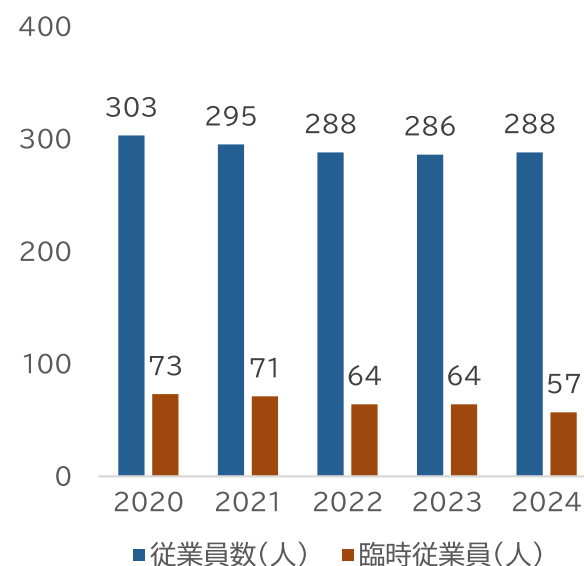
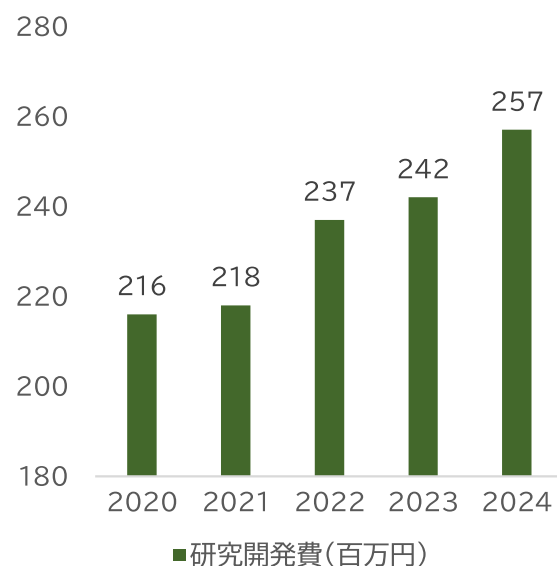
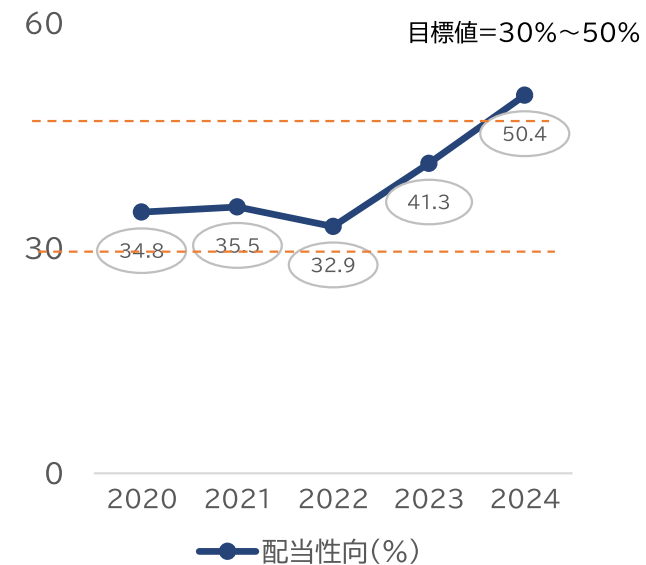
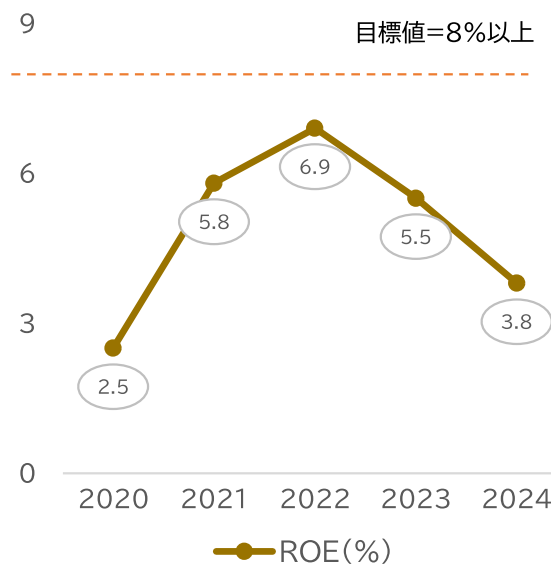
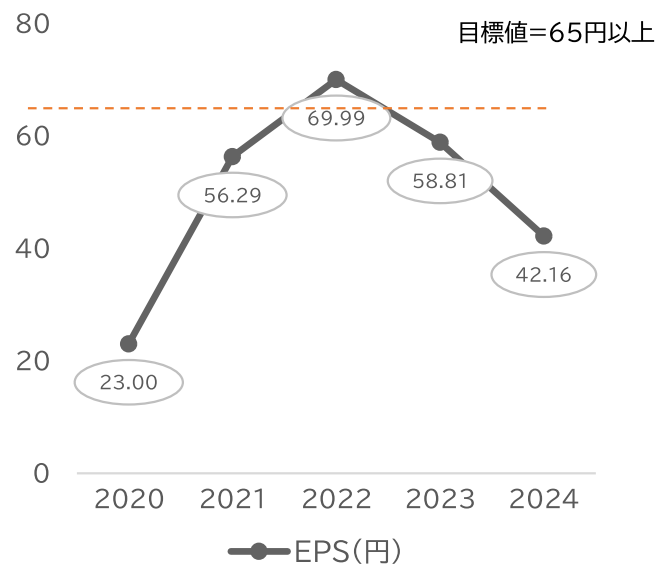
1. 中長期的な戦略について
2. 2026年3月期(第2Q)業績概要
3. 2026年3月期業績予想
4. 事業トピックス

2026年3月期業績予想

(単位:千円)	2026年3月期2Q(予測)		2026年3月期2Q(実績)		対予測比	2026年3月期(予測)		対通期比
	金額	売上比	金額	売上比	達成率	金額	売上比	進捗率
売上高	4,920,000		5,320,122		108.1%	10,140,000		52.5%
売上原価	3,750,000	76.2%	4,083,351	76.8%	108.9%	7,734,000	76.3%	52.8%
販売費及び一般管理費	715,000	14.5%	740,140	13.9%	103.5%	1,440,000	14.2%	51.4%
営業利益	455,000	9.2%	496,630	9.3%	109.1%	966,000	9.5%	51.4%
経常利益	475,000	9.7%	524,618	9.9%	110.4%	1,009,000	10.0%	52.0%
当期純利益	333,000	6.8%	343,507	6.5%	103.2%	706,000	7.0%	48.7%



企業データ②



1. 中長期的な戦略について
2. 2026年3月期(第2Q)業績概要
3. 2026年3月期業績予想
4. 事業トピックス

従業員の健康を支える「健康経営宣言」を制定

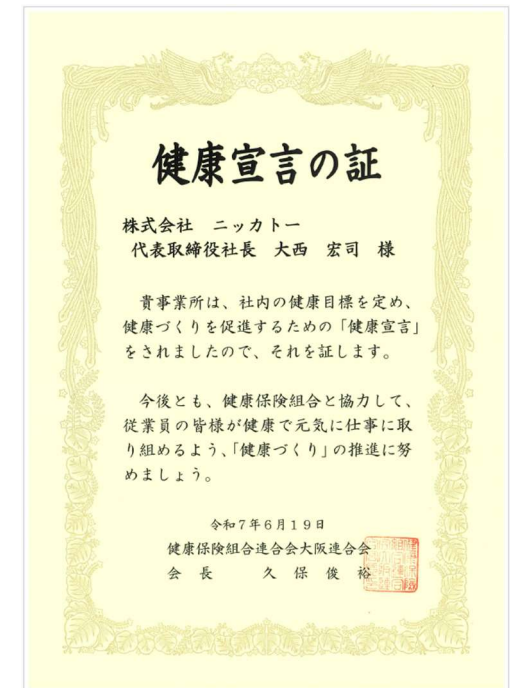
当社は、企業の持続的かつ健全な成長のためには、従業員一人ひとりが心身ともに健康であることが不可欠であると考え、2025年6月に「健康経営宣言」を制定いたしました。

経営ビジョンである「"Reliable Company" –時代に必要とされる企業だけが成長する」のもと、従業員が前向きに仕事へ取り組み、自らの強みを発揮できる環境づくりを通じて、持続可能な社会への貢献を目指しています。

健康経営の具体的な取り組みとして、以下の施策を中心に推進しています。

- ・健診受診率100%の達成
- ・特定保健指導の実施率の向上
- ・健康課題の把握と改善への取り組み
- ・心身の健康維持・増進に向けた幅広い施策の展開
- ・協会けんぽとの連携による健康づくりの好循環の定着

今後も、従業員が安心して働ける職場環境の整備を通じて、企業価値向上と社会への貢献を目指してまいります。

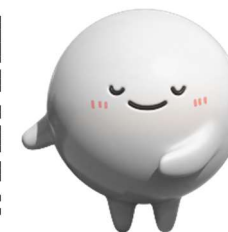


HPアドレス:

<https://www.nikkato.co.jp/>



こちらからどうぞ



(注)本資料に記載いたしております業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分にリスクや不確実な要素を含んでおります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。